



日本の“宝島”あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより



逃げ切りでなく…一緒に行動するまちづくりを！

本年冬は、このほか厳しい寒い日が続きました、一転夏は猛暑となり、40°を超える地域もありました。各地で豪雨の被害があり、台風も例年より多く発生しました。このような異常気象はいつまで続くのでしょうか。

平成という元号は「内平外成、地平天成」国の内外にも、天地にも平和が達成されるようにとの願いを込められてつけられました。平成に入ると、雲仙普賢岳噴火、阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨、西日本豪雨など、大きな災害に相次いで見舞われました。その災害リストにさらに新たな項目が加わらないことを祈り、来年5月の新しい元号の胎出を待ちたいと思います。

崎津集落が世界文化遺産に登録されました。大変喜ばしいことです。しかし、崎津だけのことにとらえずに、これを契機として天草が一つになり、私たちは、何をしなければならぬか、何ができるのか、この機を逃さず、まちづくりに活かしていかなければとを考えます。

豊かな日本をつくり上げてきた大人たちへ

少子高齢化社会の惨状は、私を含め鈍感に時を過ごしてきた、大人たちの招いた結果です。次の世代は、生まれたときから、厳しい少子高齢化社会にあります。大人たちの付けを払わされるだけでは、「やってられない」でしょう。「逃げ切り世代だから」と無関心を装い、後のことは次の世代に任せたいというのは、無責任過ぎます。実際には、逃げ切り世代だとおっしゃってる皆さんも、人口減少や少子高齢化から逃げ切るなどできません。若い世代が減れば、介護や生活支援が必要な時に支えてくれる人がいなくなります。

これまでのやり方では、この「国難」を乗り越えることはできません。次代の子どもたちが背負う荷物を少しでも軽くすることが、少子化の危機を見越して十分な対策を講じてこなかった今の大人たちの責務です。

次代に「豊かな日本を」引き渡していくために、ほんの少しの勇気と覚悟をもって一緒に行動を起こしていきましょう。(未来の年表2 河合雅司)

まちづくり協議会では、皆様の地域の元気づくりにお役に立てるよう活動をしてまいりますので、ご指導ご協力をお願いいたします。

投稿後の9月6日未明北海道胆振地方で震度7の地震が発生し、41人の方がお亡くなりになりました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈りいたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 21

平成30(2018)年10月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P.1
- 平成30年度事業計画・収支予算など……………P.2～3
- 本渡まちづくり審議会……………P.3
- SBP推進事業……………P.4～5
- 各地区の話題……………P.6～7
- 地域おこし協力隊の活動など……………P.8
- ふるさと応援寄附金のお礼……………P.8

●本渡まちづくり協議会委員(敬称略)

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	鬼塚 清武	楠浦地区振興会長 ※
監事	池邊 哲夫	公募
〃	竹畑 研一	公募
委員	海江田雅靖	本渡南地区振興会長
〃	鶴田 克幸	本渡北地区振興会長
〃	河野 昇	亀場地区振興会長
〃	菅原 一男	樺宇土地区振興会長
〃	福島 実	志柿地区振興会長
〃	松岡 政幸	下浦地区振興会長
〃	岡部 養一	本町地区振興会長
〃	原田 康秀	佐伊津地区振興会長
〃	松川 莞爾	宮地岳地区振興会長
〃	寺澤 静子	文化関係
〃	浦川 至	体育関係
〃	平井 太宗	経済団体 ※
〃	上村 恭子	観光関係 ※
〃	梅川 正	産業関係
〃	横田 早苗	高齢者福祉関係 ※
〃	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任委員の皆さまです。

本年3月13日に開催した本渡まちづくり講演会の講師で

SBP推進事業

協議会だよりは、年2回本渡地域にお住まいのみなさんに配布しています。まちづくりに関する情報を、分かりやすくお伝えできる誌面にしたいと思っております。ご意見やご要望などありましたら、本会事務局(ホルト・市まちづくり支援課)または各地区コミュニティセンターへお知らせください。

協議会だより発行

ある岸川政之氏より、SBP(ソーシャル・ビジネス・プロジェクト)について天草拓心高等学校へ事業紹介があり、高校側も取り組みたいとの意向でした。今年度は全国高校生SBP交流フェアを視察し、他地区の事例を参考に天草版SBPを企画立案していきま

す。本会としては、岸川氏とともに拓心高校と連携して取り組んでまいります。(詳細は、4ページをご覧ください)

※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局(ホルト・市まちづくり支援課) ☎6661へお尋ねください。



※SBP: Social Business Projectの略で、地域課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組みです。具体的には、若者(高校生)が中心となり、地元にある地域資源(人、モノ、自然、歴史、産業など)と交流し、見直し、活用して「まちづくり」や「ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。

まちづくりは人づくり! 人材育成!

~平成30年度 第1回まちづくり協議会を開催~

平成30年度の事業計画・収支予算を審議

平成30年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を6月11日、天草宝島国際交流会館ホルトで開催しました。会議には、委員など23人が出席。平成29年度の事業実績・収支決算・監査報告や、平成30年度の事業計画・収支予算などについて慎重に審議され、いずれも原案のとおり承認されました。また、本年度は任期(2年)満了に伴う役員改選が行われ、会長に中川竹治氏(再任)、副会長に鬼塚清武氏(新任)、監事に池邊哲夫氏(再任)と竹畑研一氏(再任)が選任されました。

本会の「まちづくりは人づくり」という基本理念のもと、会議の中でも「人材育成」の重要性が再確認され、今年度も人材育成を中心とした事業を展開することとなりました。「まちづくり人材育成」「まちづくり研修」協議会だより発行」などを継続して実施し、今年度からSBP推進事業を計画しています。各事業の情報は、本紙や各地区振興会だよりなどでお知らせいたします。

各事業の紹介

まちづくり人材育成研修

まちづくり人材育成研修は、まちづくりを推進する人材の育成を目的として研修を行うものです。今年度は、各地域から推薦された次世代のリーダー候補者の方を対象に、リーダー育成講座を開催します。

まちづくり研修

まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換することです。気づきや発見を得て、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。今年度は、本会委員を対象として、日本有数の先進地を訪問する研修を実施いたします。

平成29年度 収支決算

収入	
決算額	17,263,109円
○天草市交付金	16,686,000円
○参加者負担金	345,000円
○繰越金	232,098円
○雑入	11円
支出	
決算額	17,031,333円
○運営費	598,280円
○事業費	1,698,053円
・まちづくり人材育成事業	(341,988円)
・まちづくり研修事業	(743,147円)
・まちづくり講演会	(225,160円)
・協議会だより発行事業	(387,758円)
○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費	
○次年度への繰越金	231,776円

平成30年度 収支予算

収入	
予算額	18,495,000円
○天草市交付金	16,833,000円
○参加者負担金	400,000円
○ふるさと応援寄附金	1,030,000円
○繰越金	231,776円
○雑入	224円
支出	
予算額	18,495,000円
○運営費	130,000円
○事業費	3,480,000円
・まちづくり人材育成事業	(400,000円)
・まちづくり研修事業	(1,600,000円)
・協議会だより発行事業	(450,000円)
・SBP推進事業	(1,030,000円)
○地区振興会活動費	14,885,000円
※10地区振興会の活動費	

第2期本渡地域まちづくり計画の策定に向けて

本渡まちづくり審議会(天草市の諮問機関。本渡まちづくり協議会委員で構成)では、今年度見直しとなる「第2期本渡地域まちづくり計画」策定に向け、協議を進めています。

この計画は、本渡地域の目ざす姿を展望し、地域住民や団体、行政などが一体となって取り組むべきまちづくりの方策などを定めるものです。計画期間は平成31年度から同34年度までの4年間。

計画の策定にあたっては、本年6月、同審議会が天草市から計画策定についての諮問を受け協議をスタート。住民の皆さまのご意見などを十分に取り入れた計画とするため、まず各地区振興会単位での計画(地区振興計画)を作り、その後、本渡地域全体で取り組むべき方策をまとめていく方式を進めています。

現在の進捗としては、各地区振興計画の取りまとめが終わり、本渡地域全体での協議を進めているところです。

今後は、来年1月を目途に同審議会により計画(案)を策定、市に答申書を提出。その答申に基づき計画策定となります。

次号(ほんどまちづくり協議会だよりVol.22)で、策定された計画の概要をご紹介します。



第3回全国高校生SBP交流フェア

「学生の学生による学生のための祭典」

本年3月に本渡まちづくり講演会の講師としてお招きした岸川先生が、天草拓心高校でSBPについての講演をされたことをきっかけに本渡まちづくり協議会と天草拓心高校で連携してSBP事業に取り組むこととなりました。その一歩として、本年8月17日から同18日に三重県伊勢市で開催された「第3回全国高校生SBP交流フェア」を視察してきました。その模様を報告します。



▲運営委員のみなさん

るものです。また、同フェアは企画・進行・案内をSBPの取り組みを行っている高校生が担当し、地元大学生がその裏方をサポートするという、生徒や学生が主体となり、運営されました。

ポスターセッション

第1次審査で選ばれた19団体が3グループに分かれ、取り組み内容の説明(4分)、審査委員による質疑(4分)を行い、各グループから採点上位2団体が翌日のオールセッションに進みます。



▲他団体の取り組み説明を真剣に聞き入る

各団体とも限られた時間内でプレゼンテーションを行い、審査委員からの質問にもしっかりと

とした口調で答え、自分たちの取り組みに自信をもっていることが伺えました。また、各団体ともプレゼンが終わった後は、積極的に他団体のところへ行き、取り組みの内容を聞くなど交流を深めていました。

全国高校生SBP販売交流会「夜の市」

参加団体及び地元の大学生、企業などが商店街にブースを出展し、それぞれの開発商品や地元の特産品などの販売を行いました。

4時間弱の販売時間ではありましたが、早いところでは1時間程度で売り切れているブースもあり、大変な賑わいをみせていました。



▲夜の市、出店

参加者が4種類のワークショップに分かれ、他団体の生徒とともに学び、一つのものを作り上げていきます。

ワークショップ

WS1 エコキャップアート製作
WS2 Adobe Design Jinnos X SBPワークショップ
WS3 SBPを知るから行動へ
WS4 動画作成

さすがはこういった活動をしている生徒たち、人見知りすることもなく、仲良く協力して時間内にまとめていました。

SBPセミナー

琉球大学農学部の中野教授と沖縄県西原町で活動をしているNS²BPのみなさんによるS



▲動画撮影中...



▲かわいいデザインのトートバックが出来ました♪

BPの取り組みの考え方・進め方について、実際の活動事例を含めたセミナーが行われました。このセミナーは主に大人の参加者が対象で、これから取り組みを進めていく上で参考となる話が聞けました。



▲琉球大学農学部 中野教授



▲沖縄県西原町NS²BPのみなさん

当日朝、高校生レストラン「まごの店」で調理された「まご弁当」をいただきました。



▲高校生レストランによる「まご弁当」

オールセッション

ポスターセッションを通して7団体が、スクリーン・プロジェクターで映像資料等を使ったプレゼンテーション(10分)を行い、審査委員による質疑(10分)が行われました。

各団体とも趣向を凝らしたプレゼンテーションで、自分たちが何のためにどのような活動を行っているか、また、今後はどのような展開を考えているかを



▲沖縄県西原町NS²BP



▲南伊勢高校SBP

講演会

しっかりとプレゼンし、審査委員からの質疑にもはっきりと答えていました。



▲村上憲郎氏

村上憲郎氏(前 Google 日本法人名誉会長/ 懐村上憲郎事務所代表取締役)により、「グローバル時代を生き抜く」と題し講演が行われました。これからの時代、世界規模で活動を行うに当たっては、いかに「英語」が大事であるかを語られ、皆、真剣なまなざしで聞いていました。



▲浜松学芸中学校・高等学校

結果発表・表彰
まず、各団体の取り組みに対しての評価を3段階(雅↓輝↓極)で発表。その後、全参加団体を対象に各審査委員から贈られる特別賞、オールセッションの結果を受け決定される文部科学大臣賞、三重県知事賞の発表・表彰が行われました。

文部科学大臣賞を受賞されたのは、浜松学芸中学校・高等学校の「はままつ胸キュンプロジェクト」。地元の注染浴衣メー



▲中部大学春日丘高等学校

バイキング交流会
300回を超えるボランティア活動。障がい者や高齢者に心から「ありがとう」を届けたい! という思いから考えられた「ありがとう」のサイクル。また、他団体と異なり唯一、パワーポイントを使わず、演劇を取り入れたプレゼン方法などが評価されました。

フェア最後は、参加団体みんなでのバイキング形式の食事会。用意された料理に加え、三重県立相可高校から「まごの店」で名物の「だし巻き卵」、愛知県立高浜高校から「Sの絆焼き」が会場調理され賑わいをもたらした。また、各団体から提供されたお土産品をかけた「じゃんけん大会」もあり、大いに盛り上がり交流を深められていました。

第3回全国高校生SBP交流フェアに参加して

今回、岸川政之さんとの縁で、初めてSBP交流フェアに参加させて頂いたことができました。参加してわかったことが、SBPに取り組んでいる高校生の地域に対する熱い思い! 各地域さまさまな課題をもっていますが、それぞれ「自分たちで地域のために何か出来ることはないか?」と考え、地域の人・企業・行政などと連携し取り組みを進めておられます。

今回は都合がつかず、残念ながら天草拓心高校は参加できませんでしたが、天草拓心高校も来年のフェアには参加することを目標に取り組みを進めているところですので、それに向けて本協議会、また、天草市も連携し応援していければと思っております。



「明瀬海岸の一斉清掃」でキレイな海岸に!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

7月8日に明瀬海岸の一斉清掃を行いました。今回が初めての取り組みでしたが、小学生を含めて約150人の参加をいただきました。約1.2Kmの海岸を潮の引き具合をみながら4カ所に分かれて一斉に清掃活動を行いキレイな海岸になりました。これからも住民のみなさんの協力をいただきながら、キレイな海岸を守っていければと思います。

健康面を考えた男の料理塾年4回開催 本町地区振興会 会長 岡部 養一



▲料理男子活躍中

健康を考えた料理の重要性(塩分控えめ、食材の素材を生かす、栄養のバランス)を学び、男性でも手軽にできる料理塾を目的に、毎年男の料理塾を年に4回開催しています。食生活改善推進員さんを講師に毎回楽しく調理しています。7月末には、第2回目を開催し、夏野菜をふんたんに使ったおいしい夏のスタミナ料理を作りました。栄養価の高い鶏肉のから揚げ、ナスの揚げびたし、キャベツのコールスローサラダ、夏野菜たっぷりの豚汁と、自分たちで作った料理のおいしさに参加したみなさん大満足でした。料理を食べながらの会話も盛り上がりしました。

楠浦眼鏡橋

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 清武

今年度から、町内各地区の輪番制で楠浦眼鏡橋周辺の環境整備を行っています。5月中旬に蒔いたひまわりの種が順調に育ち、6月の下旬には満開となりました。しかし、7月上旬の台風7号の接近により一部が倒伏し、その後の猛害により残念ながら枯れてしまいました。今後は、10月28日の楠浦諏訪神社の例大祭に満開となるよう、コスモスの種を蒔くことにしています。みなさんも一度、楠浦町へお越しください。



▶綺麗なひまわり咲きました

数十年ぶりに盆踊り復活!

宮地岳地区振興会 会長 松川 莞爾

8月14日、数十年ぶりに盆踊りを開催しました。お盆に帰省された方にも多数お越しくださいたいとの願いから、テーマを「懐かしい人に会える夏」とし、来場者の予測が全くつかない状況でしたが、約230人の方にお越しいただき大盛況となりました。特に帰省中の方が多く、懐かしい顔に会えるよい機会となりました。昔話に花が咲き、盆踊りやラムネ・ビールの早飲み、花火、ヨーヨー釣りなどを楽しみながら、子どもから大人までたくさんの人たちが思い思いにふれあうことができました。みなさんの思いで復活した「盆踊り」。これからも地域の大切な行事の一つとして残していかなければならないと感じました。



▶盆踊りを楽しむ様子

各地区の話題



▶生物調査勉強会のようす

夏休みの思い出づくり!

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

下浦地区振興会の青少年育成支援部会では、町内児童の健全育成と夏休みの思い出作りを目的として、小学生と保護者を対象とした「生物調査勉強会」や「ファミリースポーツ大会」などを毎年開催しています。8月4日に行った生物調査勉強会では、暑い中でも元気な子どもたちが、さまざまな生物を見つけては観察する姿が見られました。

八坂神社例大祭

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

炎天下の中、今年も7月15日に八坂神社例大祭が行われました。烏毛、獅子、太鼓、子ども神輿が南地区の中心街を練り歩き、道中の南公園、諏訪神社では勇壮な獅子舞も奉納されました。八坂神社の起源は定かではありませんが、夏に起こりやすい疫病退散を願って当元の5区が毎年交代で実施されています。烏毛が祇園橋を渡る風景は昔を思いはせるものがあります。



◀祇園橋の上を練り歩く烏毛の一行



◀開校式の様子

本泉区・わくわく教室が開かれました

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克幸

7月24日、本泉区・わくわく教室の開校式が行われました。同区では吉野恒一さんを始め、区民の関係方々の協力のもと、子どもたちが夏休みを元気にいっぱい過ごす手助けをすることや子どもと区民が世代を超えて交流することを目的に、実施されているものです。今年で6回目となるわくわく教室。開校式では、子どもたちが「大空賛歌」をとても上手に歌ってくれました。

星に願いを! ~七夕会~

亀場地区振興会 会長 河野 昇

7月1日に毎年恒例の「七夕会」を開催し、幼児、小学生とその保護者128人の参加がありました。紙芝居の読み聞かせや星や天の川などの七夕飾りを作り、短冊に願い事を書いて、笹2本に飾り付けを行いました。昼食は、食生活改善推進員のみなさんの協力により、そうめん流しを行い、子どもたちは竹から流れてくるそうめんやゼリーをおいしそうに食べていました。参加者からは、普段、家では経験できない体験ができた大変好評でした。今後も子どもたちが楽しめるように企画していければと思います。



▲わがいごと考え中



◀白亜紀にタイムスリップ!

夏休みの思い出! 体験ふれあい会・お泊り会

志柿地区振興会 会長 福島 実

志柿地区振興会子ども育成部会では、8月18日~19日にかけて、御所浦で「体験ふれあい会・お泊り会」を実施しました。子どもたち総勢51人は元気に本渡港に集まり御所浦に出発しました。御所浦では、化石の発掘や、白亜紀資料館の見学、自分で発掘した化石のクリーニング、伝馬舟の体験をして、1日目の日程が終了! 体験ふれあい会参加の子どもたちはこれで終わりとなり、本渡港へ出発していききました。これから先は、お泊り会! グループに分かれ、それぞれの民泊先で、その宿ならではの真心こもる、おもてなしをしていただきました。2日目は総釣り体験です。いろんな魚が釣れ、みんな笑顔でもどってきました。今回の体験で、いろんな人とふれあい、またいろんな体験をしたことが、これから役立ってくれればと思います。

変わりゆく伊宇土神社

伊宇土地区振興会 会長 菅原 一男

182年(天保7年:1836年11月社殿造営)の歴史ある伊宇土神社の鳥居が老朽化に伴いびび割れが入り危険と判断されたため、新しく作り変えられることが7月に決まりました。長きにわたり多くの町民を迎え、見守ってくれた鳥居が朽ちていくのは寂しく思います。毎年行われる10月19日の伊宇土神社例大祭には、境内の周りに祭りの旗を立て、その参道で新しいしめ縄を着飾り人々を見守っていた鳥居も世代交代となりますが、次は、新しい鳥居が町民を見守ってくれることでしょう。



▶桜と鳥居の最後の記念写真

ほんどのいま

平成30年9月1日現在
(H30.3.1との比較)

【本渡南】	男.....3,999人 (- 16)
	女.....4,600人 (- 76)
	計.....8,599人 (- 92)
	世帯数.....3,871 (- 7)
	高齢化率.....32.1%
【本渡北】	男.....5,402人 (+ 11)
	女.....5,866人 (+ 4)
	計.....11,268人 (+ 15)
	世帯数.....4,865 (+ 41)
	高齢化率.....22.9%
【亀場】	男.....2,038人 (- 6)
	女.....2,316人 (- 16)
	計.....4,354人 (- 22)
	世帯数.....1,804 (- 7)
	高齢化率.....23.6%
【栞宇土】	男.....309人 (- 8)
	女.....323人 (- 7)
	計.....632人 (- 15)
	世帯数.....266 (- 4)
	高齢化率.....43.2%
【志柿】	男.....1,309人 (- 16)
	女.....1,532人 (- 23)
	計.....2,841人 (- 39)
	世帯数.....1,225 (- 17)
	高齢化率.....33.5%
【下浦】	男.....813人 (- 7)
	女.....961人 (- 1)
	計.....1,774人 (- 8)
	世帯数.....771 (- 10)
	高齢化率.....42.8%
【楠浦】	男.....1,152人 (- 17)
	女.....1,283人 (- 18)
	計.....2,435人 (- 35)
	世帯数.....1,007 (- 3)
	高齢化率.....36.3%
【本町】	男.....847人 (- 5)
	女.....906人 (- 14)
	計.....1,753人 (- 19)
	世帯数.....839 (+ 2)
	高齢化率.....36.9%
【佐伊津】	男.....1,557人 (- 10)
	女.....1,710人 (- 16)
	計.....3,267人 (- 26)
	世帯数.....1,417 (- 5)
	高齢化率.....34.8%
【宮地岳】	男.....249人 (- 5)
	女.....259人 (- 8)
	計.....508人 (- 13)
	世帯数.....241 (- 4)
	高齢化率.....51.0%
【合計】	男.....17,675人 (- 79)
	女.....19,756人 (-175)
	計.....37,431人 (-254)
	世帯数.....16,306 (- 14)
	高齢化率.....30.2%

【編集・発行】

本渡まちづくり協議会

【事務局】

天草市 地域振興部

まちづくり支援課

〒863-0023

熊本県天草市中央新町15番7号

TEL 0969-32-6661

FAX 0969-23-1999

E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

地域おこし協力隊の活動



やまだ やすし

▲山田 恭史さん

昨年11月から地域おこし協力隊として着任した山田です。まちづくり協議会や地区振興会へのまちづくりのアドバイスや情報発信の支援を行っています。着任後、各地を見て回り、地域のみなさんと話し合いながら、楽しく仕事をしています。その活動の一部について紹介します。

まず、天草市のまちづくりポータルサイト「A-map」の情報発信の強化に取り組んでいます。また、個人的にも情報発信（フェイスブック）するとともに、天草地域のコミュニティに関する情報の拠点として「Amakusa ググる」



▲宮地岳のかかし村

を開設しました。

今後も地域のみなさんと一緒に地域のために活動していきたいと思えます。



▲下浦町散策



▲山田恭史フェイスブック
(天草 山田恭史で検索)



Amakusa ググる で検索



善意の寄附 ありがとうございます (敬称略)

〔平成30年3月～平成30年8月 本渡まちづくり協議会受領分〕

〇ふるさと応援寄附金として

福田 良治 (東京都)

※その他、1人の方にご寄附をいただきました。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願いいたします。